

あなたと出会える日が ふえました。



定期公開 **5月**から毎週日曜日に実施
10:00 ~ 17:00



宮原坑跡



旧三池税関支署

定期公開場所 宮原坑跡...市内宮原町1丁目86番地3他、旧長崎税関三池税関支署...市内新港町1番地25 公開日▶毎週日曜日(5月は、3~6日も公開。ただし、12月29日~1月3日の年始年末は除く。) その他▶見学は無料。駐車場あり。トイレあり。

定期公開を **5 月** から **毎週日曜日** に実施。



宮原坑跡

宮原坑は明治31(1898)年から石炭の採掘を始め、明治後期から大正期における三池炭鉱の主力坑の1つで、昭和6(1931)年に閉坑しました。現在は、明治34(1901)年に完成した第二豎坑の施設が残っています。

坑内の湧水を汲み上げて排水することを主な目的として設置された坑口です。三池炭鉱は湧水が多く開発に苦労しましたが、團琢磨の提案により、イギリス製のデビーポンプを導入し、これを克服しました。

平成10年国指定重要文化財、平成12年国指定史跡。平成21年にユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載された「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産の一つです。

あなたと出会える日がふえました。

旧長崎税関三池税関支署

旧長崎税関三池税関支署は、三池港開港と同時に、明治41(1908)年に開庁しました。開庁以来、昭和40(1965)年3月まで57年間、同支署として使用されていました。

建物は、木造瓦葺平屋建。調査に基づき、平成23年に当時の姿に修復工事を行いました。内部は旧形状を良く残し、電灯をつるす天井には、彫り込みのある木製の円形飾りがあります。受付窓口も当時の様子が伺えます。明治の面影と西洋様式を残す歴史的な建物として貴重であり、石炭の積出港として日本の近代工業化に貢献した三池港(明治41年開港)の歴史・港湾機能を考える上でも重要な文化財です。

平成22年、市指定有形文化財に指定されました。



平成25年度定期公開日

4月…20

5月…3・4・5・6・12・19・26

6月…2・9・16・23・30

7月…7・14・21・28

8月…4・11・18・25

9月…1・8・15・22・29

10月…6・13・20・27

11月…3・10・17・24

12月…1・8・15・22

1月…5・12・19・26

2月…2・9・16・23

3月…2・9・16・23・30